

第27回沖縄振興審議会総合部会専門委員会

オープンデータで エリアマネジメントへの挑戦

～ データで切り開く、稼ぐ観光まちづくり～

2026年6月26日

一般社団法人 沖縄やんばるDMO

CMO / 観光地域づくりマネージャー

佐竹 正範

佐竹 正範

(紀尾井町戦略研究所株式会社)

一般社団法人 沖縄やんばるDMO

CMO / 観光地域づくりマネージャー

公益社団法人 福井県観光連盟 (福井県DMO)

FTASディレクター (元 観光地域づくりマネージャー)

1973年 10月17日 生まれ

出身 : 福井県あわら市

大学時代 : 神戸

社会人 : 東京 & 北海道 (美瑛町) & 福井県

現在 : 沖縄 (やんばる) & 福井県

趣味 : サーフィン

2000年にヤフー株式会社に入社。広報、ブランドマーケティング、CSR等を担当し、東日本大震災以降は、ITを活用した地域活性化を担う地方創生プロデューサーとして自治体をサポート。2015年より、内閣府などが後援する「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会」の幹事長を務め地域商社協議会を運営。2016年より総務省の地域おこし企業人として北海道美瑛町に出向し、政策調整課長補佐として地域DMO「丘のまちびえいDMO」の立ち上げを行い、同DMOのCMO (Chief Marketing Officer) として従事。2021年8月から公益財団法人福井県観光連盟に出向し、福井県の観光地域づくりマネージャーとして観光DXを推進するなどして、観光で「稼ぐ」地域づくりを推進する福井県の観光振興の旗振り役として活動。2025年からは沖縄県北部エリア (やんばるエリア) でのDMO設立支援をこない、2026年から一般社団法人沖縄やんばるDMOのCMO / 観光地域づくりマネージャーとして活動中。2024年度より、金沢大学先端観光科学研究所 共感研究部門 客員研究員。



誰が？ 稼ぐ観光

地域が？

行政が？ DMOが？ 民間事業者が？

宿
泊

>

食
事

>

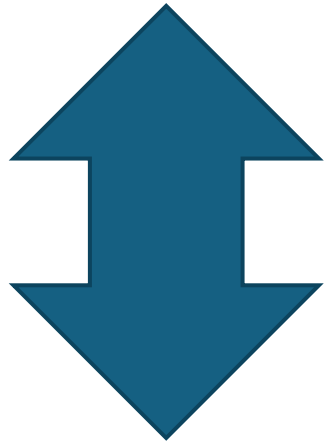
体
験

>

自
然
・
歴
史

稼ぐ観光地域づくりの推進

キャッシュポイント
(宿・食事・体験)



集客ポイント
(歴史・自然・フォトスポット)

顧客満足度
(推奨意向)



ファン作り
(リピーター)



データで切り開く稼ぐ観光



FTAS (福井県観光データ分析システム)

あるべき姿

戦略

戦略

...

現状把握

ポジショニングの考え方を
観光の領域にあてはめてみると

アクション

アクション

...



PDCAを回す



最初の驚き

観光業という 業種がない？

観光業は、日本標準産業分類※で
ひとつの業種として分類はされていない。

※ 参照：<https://ja.wikipedia.org/wiki/日本標準産業分類>

日本標準産業分類とは、日本における産業分類のうち20世紀半ばに成立して現在用いられているもの、標準産業分類の日本版を指す。日本の公的統計における産業分類を定めた総務省告示であり、統計調査の結果を産業別に表示する場合の統計基準として1949年（昭和24年）10月に設定されて以来、改定が重ねられてきた。農業・建設業・製造業・卸売業・小売業・金融業・医療・福祉・教育・宗教・公務などのすべての経済活動を、大分類・中分類・小分類・細分類の4段階に分類している。

地域の観光コンテンツ造成や
プロモーションを考える時に

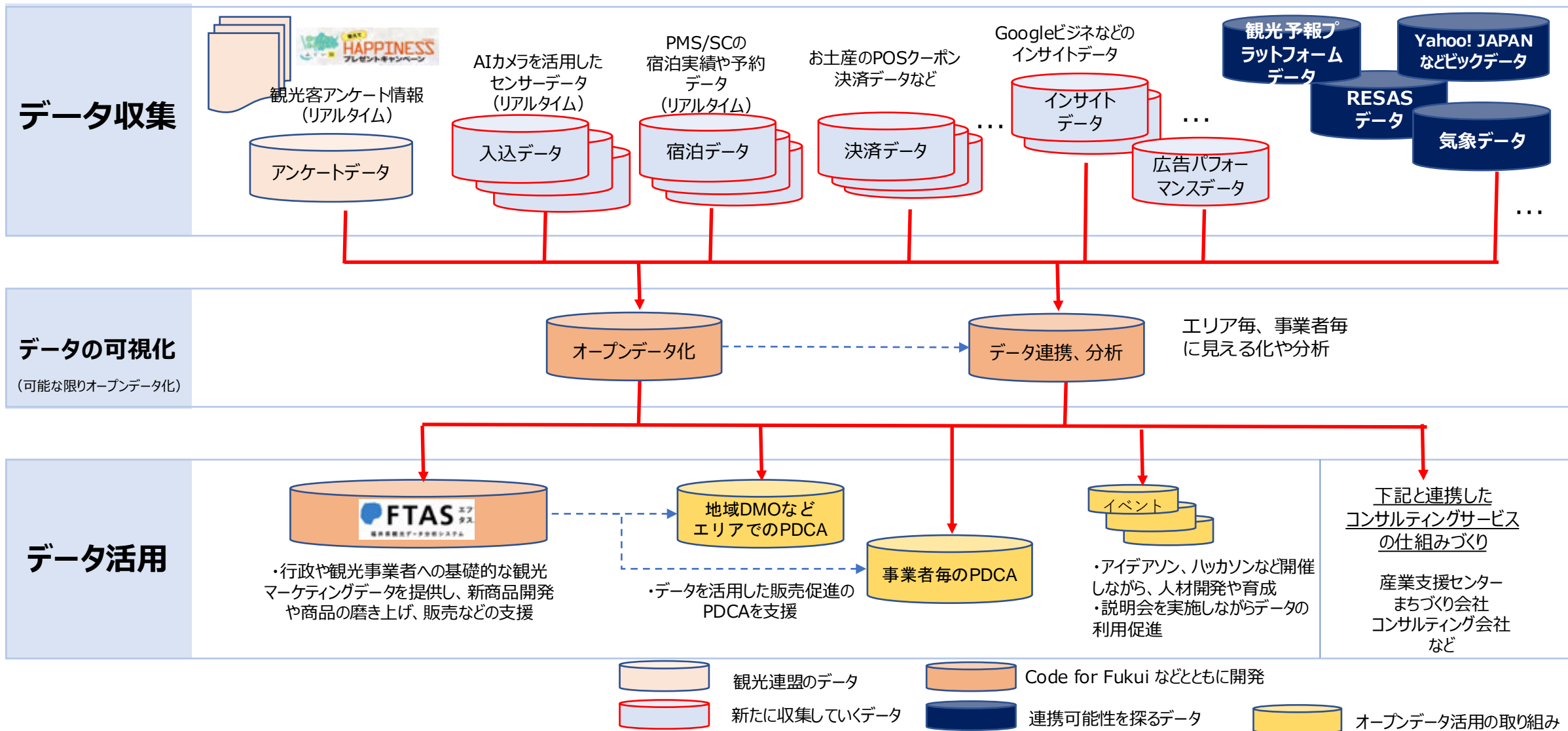
誰をターゲットに
何をするか？

そのために
知りたいこと

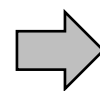
現状把握

- ・ 何処に、どれぐらいの人が？
- ・ 何処に、どれぐらいの人が宿泊？
- ・ 何処から、どんな人が、何の目的で？
- ・ 何処で、いくら域内消費をしている？
- ・ 観光客の満足度や再来訪意向は？
その理由は？
- ・ 旅行の情報収集手段は？
- ・ 季節変動は？
- ・ エリアごとに観光客の特徴は？

「稼ぐ観光」に向けた、データ収集とデータ活用



リアルタイムな定量データ収集



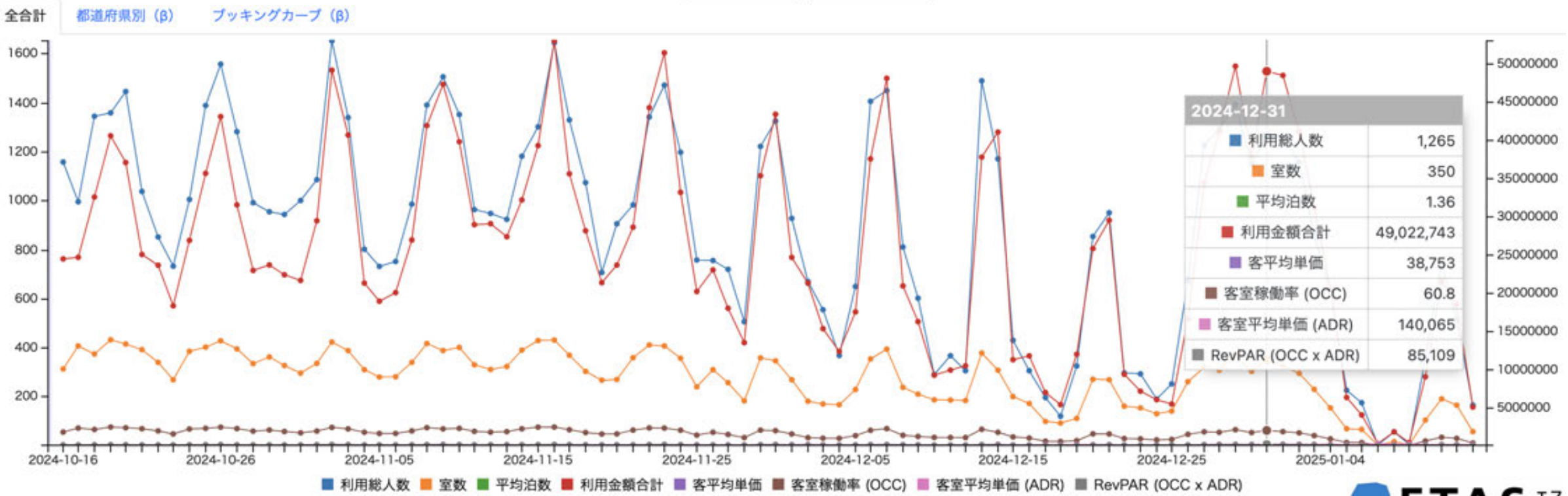
タイムリーなPDCA

宿泊予約データの収集 (未来のデータ)

県内4エリアのエリアPMSを公開中

あわら温泉エリア 宿泊予約状況 (データ出典：福井県観光連盟)

期間：2024/10/16 ~ 2025/01/13



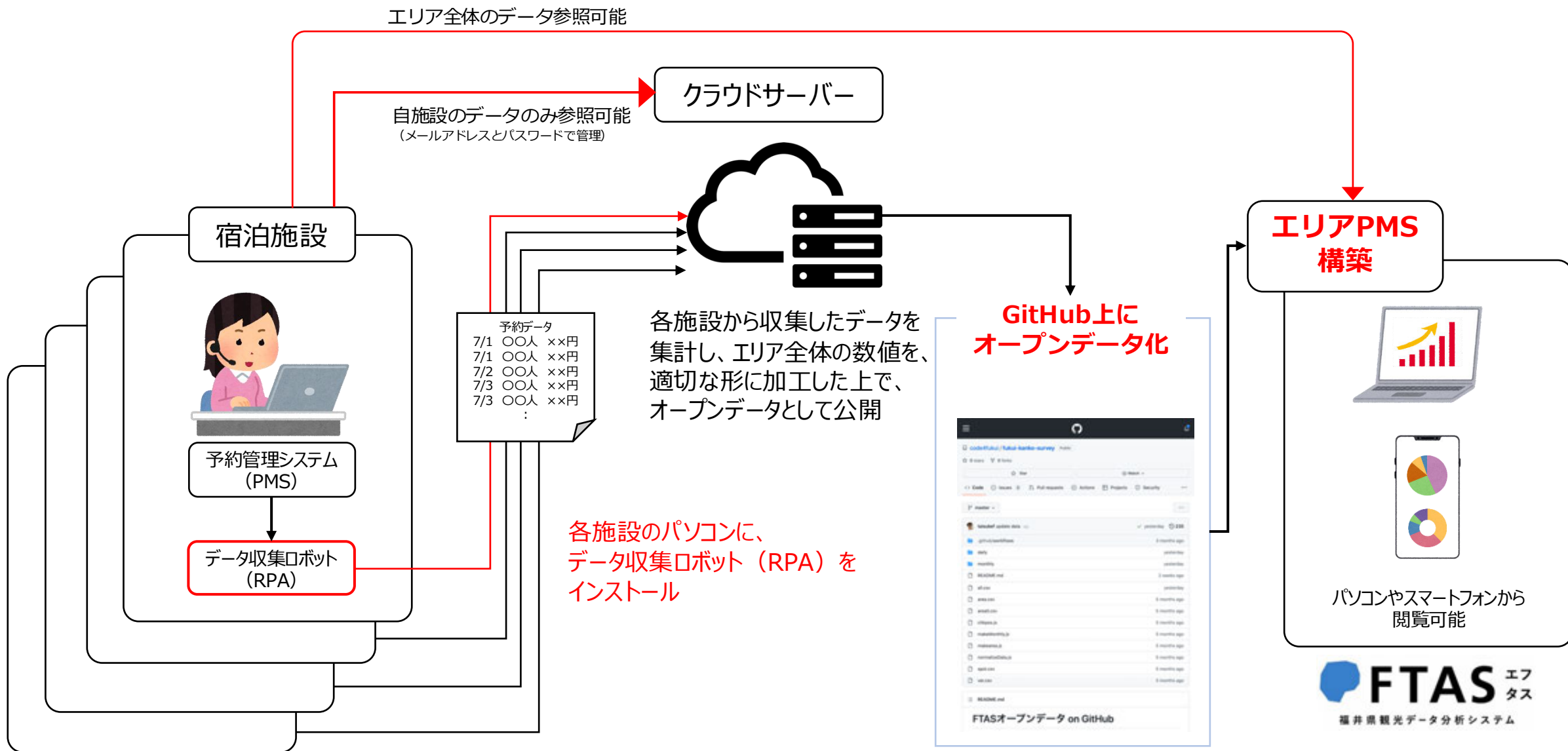
福井県あわら温泉エリア、10のホテル（総客室数576）の予約状況を合算したオープンデータです。（部屋数は2024年10月16日時点です）
「CSVオープンデータダウンロード（OCC/ADR/RevPAR付きCSV）」（2024年10月16日現在）



オープンにすることで

- 宿泊事業者：ダイナミックプライシング
- 周辺事業者：仕入れや人員手配
- 観光協会：プロモーション活動

エリア全体で活用



宿泊事業者の経営情報のため、何度も丁寧に説明会を実施

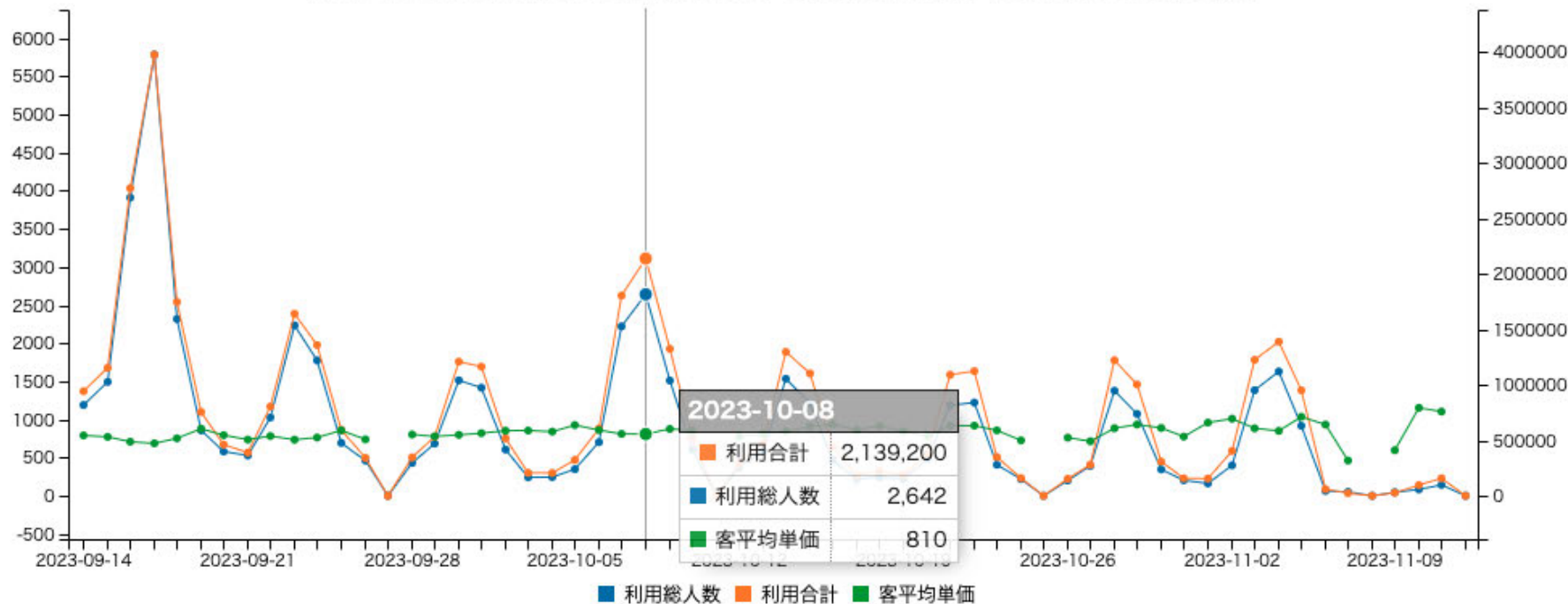
福井県立恐竜博物館
2023年7月 リニューアルオープン

恐竜博物館ダッシュボード

事前予約制を導入

60日先までの予約状況 (人数、金額、平均単価)

※2023-09-14時点の事前予約数です。最終的な予約数や入館者数は異なります。



↓
予約データの
オープンデータ化

↓
入込状況に合わせた
仕入れや人員手配に活用

来てくれてありがとう ふくい旅 答えてHAPPINESS プレゼントキャンペーン



福井県内 90の観光エリアにQRコード設置



福井県全域でのアンケート協力数

91,850件

2026年度 770件 (2026年4月1日～2026年4月20日)

2022年度 18,726件 (2022年4月28日～2023年3月10日)

2023年度 23,258件 (2023年4月28日～2024年3月31日)

2024年度 27,862件 (2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年度 22,004件 (2025年4月1日～2026年3月31日)

<https://39-fukui.com/>

QRコードを読み込み、アンケートにお答えいただき、応募いただいた方の中から、抽選で福井県グルメギフトカタログが当たるキャンペーン

アンケートデータのオープンデータ化

(過去のデータ)

2022年度～

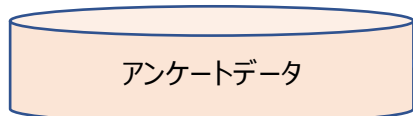


県内90エリアに、ユニークなQRコードを設置し、アンケートに答えてくれたら、抽選でプレゼントをするキャンペーン展開



2022年4月28日開始

アンケート収集数
91,850件
(2026年3月31日時点)



GitHub上に
オープンデータ化



アプリを開発して見える化 (日次更新)

簡易分析 回答数推移 満足度ランキング リポート意向ランキング 高感度ランキング

トレンド分析

福井県に求めるもの 観光滞在時間

コメント新着順 コメント検索 コメントマップ ワードクラウド

Code for FUKUI

観光マーケティング分析ツール (月次更新)

basicmath

- 観光目的分析
- 観光客分析
- 観光満足度分析
- 観光誘客分析
- 宿泊分析
- 移動手段分析
- 口コミ情報

地域創生Coデザイン研究所

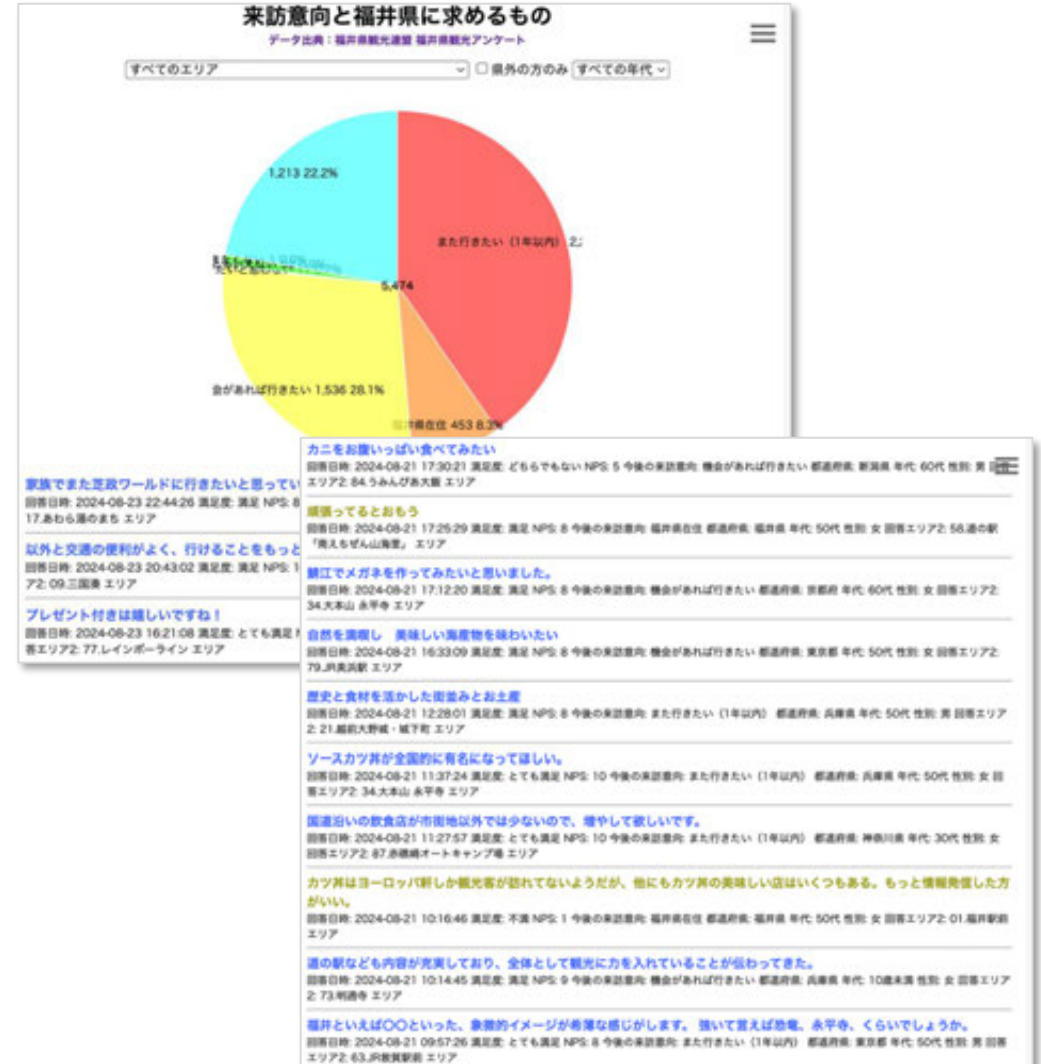
2024年度～

データを基に、キャッシュポイントの磨き上げ

満足度とその理由



来訪意向と福井県に求めるもの

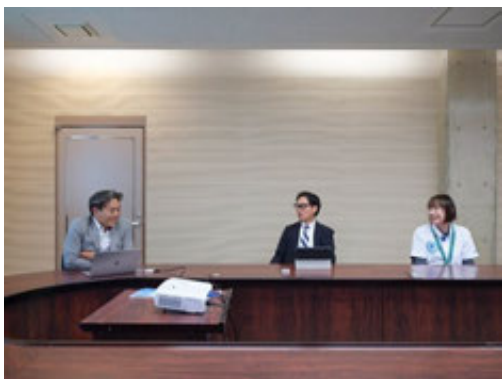


観光客の満足度向上に向けて、観光の現場で課題解決！

データを基に、現状分析と戦略立案支援活動

■ 芦原温泉旅館組合（マーケティング委員会）

周辺温泉地の宿泊データも併せての現状分析と新たな施策の協議



あわら市観光協会の方も含めて協議

■ 越前おおの観光ビューロー

データで現状把握しながら、SWOT分析を実施



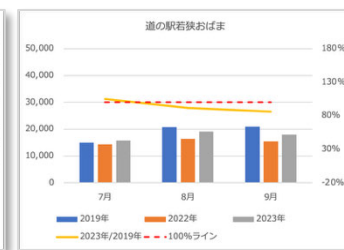
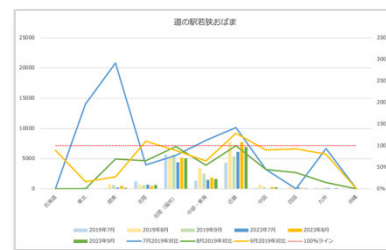
■ 勝山市観光まちづくり（勝山DMO）

恐竜博物館の予約データを基に協議



■ まちづくり小浜 おばま観光局（小浜DMO）

KDDIの人流データを基に、夏の実態分析



■ コンテンツ造成補助事業でデータ分析項目の必須化

令和5年度 観光地域づくり推進事業補助金【民間プレイヤー（DMC）等を対象】

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた観光で「稼ぐ」地域づくりを推進するため、「観光地域づくり推進事業補助金」により、「稼ぐ」観光地域づくりを展開する民間プレイヤー（DMC）、および「宿泊」「食」の地域資源の活用によるブランド力向上や先駆的な「体験」「アクティビティ」コンテンツの新規開発モデル事業を行う観光事業者等への支援を行っています。

あるべき姿

戦略

戦略

...

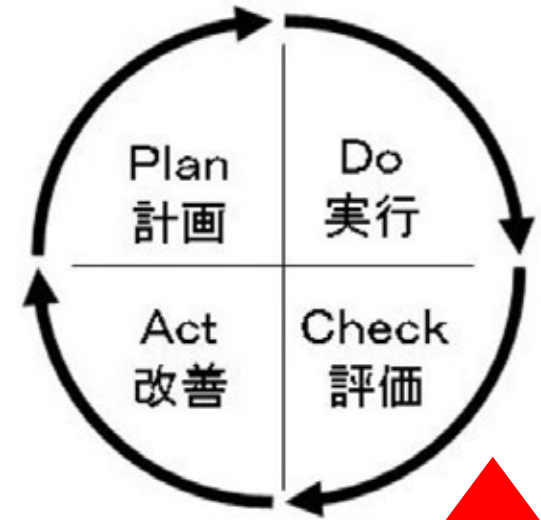
現状把握

ポジショニングの考え方を
観光の領域にあてはめると

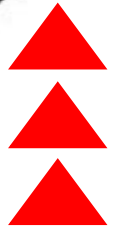
アクション

アクション

...



PDCAを回す



稼ぐ観光を目指して
観光プレイヤー支援



稼ぐ観光のためのマーケティング環境の提供

FTAS (福井県観光データ分析システム)

<https://www.fuku-e.com/FTAS>

福井県観光データ分析システム「FTAS (FUKUJ Tourian data Analyzing System)」(商標：エフタス)を提供しています。 2024.09.04
33,451 view

FTASは、「稼ぐ」観光地域づくりを推進するため、データを活用して福井県観光の実態を多角的に「見える化」するツールです。

目次

- 1) 今後の観光動向関連
 - 1-1) 泡盛博物館予約状況
 - 1-2) 県内宿泊予約状況
 - 1-3) 「ふくいドットコム」アクセスデータ
- 2) 観光客実態について
 - 2-1) HAPPINESSキャンペーンアンケートデータ
 - 2-2) オープンデータを活用した分析ツール
- データの活用方法について
- 2-3) 観光客の満足度向上に向けて
- 3) 県域での実態について
- 4) 行政関係のみならずへ
 - 4-1) オープンデータを活用した分析ツール
 - 4-2) 福井県の観光による住民幸福度に関するアンケート結果
- 5) 各種観光レポート等リンク
- 6) 福井県観光DXについて
 - 6-1) コンソーシアム
 - 6-2) 2023年度の活動について
- 7) 福井県観光DXの活動実績やレポートなど

観光の現状把握の為にデータ収集し
オープンデータとして公開



観光客の満足度向上に向けて
観光コンテンツの磨き上げ
新たな観光コンテンツ開発

稼ぐ観光を実現させていく

福井県観光「稼ぐ観光」に向けた生成AIの活用

2024年度～

観光事業者/観光行政の支援（コンサルティングの自動化）

観光客の支援（観光案内の自動化）

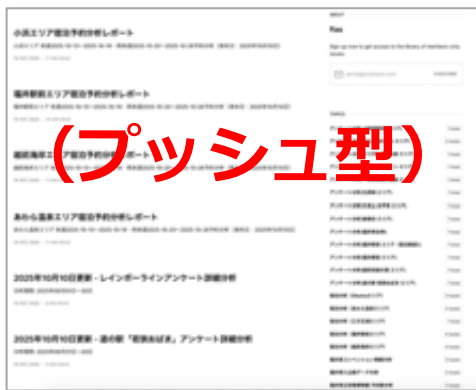
mitsumonoAI
(2025年9月～)

観光事業者支援
コンサルティングAI



FTAS エフタス
FTAS-AI分析レポートサイト(β版)
(2025年10月～)

(プッシュ型)



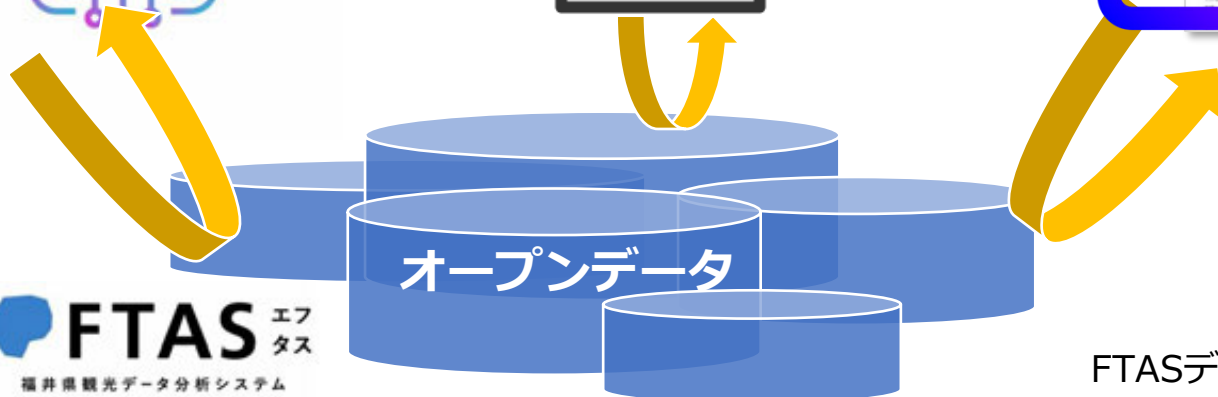
福井県観光AIアドバイス
(2023年9月～)



FTEH (エフティ)
(2025年12月～)



福井県公式観光サイト
「ふくいドットコム」
サイト内検索
アシスタントAI
(2025年11月～)



FTAS エフタス
福井県観光データ分析システム

FTASデータ利用領域

FTASデータを生成AIが分析、レポート化してアドバイス

FTASに公開されているオープンデータを生成AIで自動分析し、観光動向レポートを作成しメール配信。生成AIが自動分析することにより、これまで手動で時間をかけて行っていた分析の手間を削減し、誰でも手軽に観光動向を把握できるようにします。



FTAS-AI分析レポートサイト (β版)

小浜エリア宿泊予約分析レポート
小浜エリア 来週2025-10-13~2025-10-19・再来週2025-10-20~2025-10-26予約分析 (発布日: 2025年10月10日)

福井駅前エリア宿泊予約分析レポート
福井駅前エリア 来週2025-10-13~2025-10-19・再来週2025-10-20~2025-10-26予約分析 (発布日: 2025年10月10日)

越前海岸エリア宿泊予約分析レポート
越前海岸エリア 来週2025-10-13~2025-10-19・再来週2025-10-20~2025-10-26予約分析 (発布日: 2025年10月10日)

あわら温泉エリア宿泊予約分析レポート
あわら温泉エリア 来週2025-10-13~2025-10-19・再来週2025-10-20~2025-10-26予約分析 (発布日: 2025年10月10日)

2025年10月10日更新 - レインボーラインアンケート詳細分析
分析期間: 2025年09月01日~30日

2025年10月10日更新 - 道の駅「若狭おばま」アンケート詳細分析
分析期間: 2025年09月01日~30日

ABOUT
ftas
Sign up now to get access to the library of members-only issues.
jamie@example.com

TOPICS

- アンケート分析(IR散策駅前エリア) 1 issue
- アンケート分析(あわら温泉のまち エリア) 2 issues
- アンケート分析(かつやま温泉の森 エリア) 1 issue
- アンケート分析(レインボーライン エリア) 1 issue
- アンケート分析(一乗谷朝倉武遺跡 エリア) 1 issue
- アンケート分析(丸岡城 エリア) 1 issue
- アンケート分析(大本山 永平寺 エリア) 1 issue
- アンケート分析(東尋常 エリア) 1 issue
- アンケート分析(福井県全体) 1 issue
- アンケート分析(福井駅前 エリア) (宿泊施設) 1 issue
- アンケート分析(福井駅前 エリア) 1 issue
- アンケート分析(越前和紙の里 エリア) 1 issue
- アンケート分析(道の駅 若狭おばま エリア) 1 issue
- 宿泊分析 (Obamaエリア) 3 issues
- 宿泊分析 (あわら温泉エリア) 2 issues
- 宿泊分析 (三方五湖エリア) 1 issue
- 宿泊分析 (福井駅前エリア) 4 issues
- 宿泊分析 (越前海岸エリア) 4 issues
- 福井県コンベンション情報分析 3 issues
- 福井県入込数データ分析 3 issues
- 福井県立恐竜博物館 予約数分析 2 issues

あわら温泉エリア宿泊予約分析レポート

あわら温泉エリア 来週2025-10-13~2025-10-19・再来週2025-10-20~2025-10-26予約分析 (発布日: 2025年10月10日)

重要なお知らせ

今日の状況: 本週 (2025/10/13~2025/10/19) の観光客数は6,054人で、前年同期比-30.4%となり、観光客は少ない状況です。大型連休や前年のイベント集客の反動と、平日ベースの需要低下が要因と考えられます。

今週末の見通し: 本週末 (土日: 10/18-10/19) の観光客数は2,303人 (前年比-33.9%) で、少ないと予測されます。週末は準備が高めに維持されている一方で、来訪客数は前年比に届いていません。

来週の予測: 来週 (2025/10/20~2025/10/26) は観光客数5,994人 (前年比-32.3%) で少ない見込みです。週末では本週比で若干の人数減少が見られますが、週末の回復高がポイントです。

来週末のポイント: 来週末 (土日: 10/25-10/26) は2,347人 (前年比-32.1%) で少ない見込みです。週末は前年比・ADRが上昇しており、宿泊上の改善余地は季節転換にあります。

全体の動向: 過去2週間で見ると平日の人数は減少傾向。週末は相対的に回復しているが前年水準には届かない。季節感 (ADR) は週末プレミアムにより収益性を下支えしているため、平日営業強化と週末在庫管理が重要です。

1. 宿泊予約状況集計結果

本週の宿泊予約データ (2025/10/13~2025/10/19)

日	曜日	人数	客室数	売上
10/13	月	765人	447室	¥18,825,000
10/14	火	754人	412室	¥18,850,000
10/15	水	896人	538室	¥21,450,000
10/16	木	877人	498室	¥18,925,000
10/17	金	877人	528室	¥21,925,000
10/18	土	1,171人	679室	¥27,925,000
10/19	日	986人	597室	¥24,650,000

2. 前週比較

日	曜日	前週	前年	前週比	前年比
10/13	月	428人	1,502人	+74.1%	-50.4%
10/14	火	334人	1,179人	+125.7%	-36.0%
10/15	水	693人	686人	+29.8%	+30.9%
10/16	木	924人	1,134人	-26.7%	-40.3%
10/17	金	1,002人	1,077人	-12.5%	-13.8%
10/18	土	1,598人	1,342人	-28.4%	-18.8%
10/19	日	1,244人	1,840人	-20.7%	-46.4%

2025年10月10日更新 - あわら温泉のまちアンケート詳細分析
分析期間: 2025年09月01日~30日

1. アンケート回答数 (前年比)

回答数 (当月 vs 昨年同月)

項目	今年	昨年	前年比
回答数 (2025-09)	167	194	-13.92%

Report: 回答数は前年同月の194件から167件へと13.92%減少しています。季節感や調査実施の違い、回答者構成の変化が影響している可能性があり、自集計減少の要因調査が必要です。

2. 都道府県/市町村上位30 / 年代 / 同行者の構成 (前年比)

都道府県分布

都道府県	今年	昨年
三重県	4	5
徳島県	8	3
佐賀県	0	1
兵庫県	12	12
北海道	4	1
千葉県	3	3
東京都	1	0
埼玉県	1	7
大阪府	17	23
奈良県	2	8

3. 満足度 (NPS) 分析 (前年比)

3.1 NPS (満足度) スコア

NPSは顧客満足度をスコア (1から100) で表します。

項目	今年	昨年	前年比
NPS	28.32	22.4	26.0%

3.2 満足者・中立者・不満者の内訳

項目	今年	昨年	前年比
満足者 (0-100)	28	28	-18.2%
中立者 (7-40)	19	11	40.9%
不満者 (0-6)	24	21	11.9%

4. 平均消費額 (前年比)

項目	今年	昨年	前年比
平均消費額	170	170	0%

生成AIを活用した観光客サポート

「FTEH (FUKUI Travel planning Engine for HAPPINESS)」 略称：エフティーイー

The screenshot shows the FTEH website interface. At the top, there's a navigation bar with categories like '観光', 'ホテル', 'イベント', etc. Below that, a main banner reads '福井の旅プラン、AIが作ります。' (Fukui travel plan, AI makes it). A sidebar on the left lists '所要時間', '特典', and '注意事項'. The main content area is titled 'あなたにおすすめの福井観光スポット' (Fukui spots recommended for you) and shows a list of spots with details like 'あなたのプロファイル' (Your profile) and 'あなたと同じ属性の人気訪問先' (Popular destinations with similar attributes). At the bottom, there's a section for '福井で心豊かな体験と冬の味覚を堪能する2泊3日の旅' (A 2-night 3-day trip to enjoy heartwarming experiences and winter flavors in Fukui).

7万件のアンケートが、一人ひとりに最適な福井の旅を創造する

The Challenge
旅行者の多様なニーズに応え、まだ知られていない福井の魅力伝え、訪問意欲を高める。

The Multi-Layered Solution

- 1. 統計的裏付け**
BigQueryで7万件のアンケートを分析し、「ユーザーと属性が似ている人に人気の観光エリアTop5」を抽出。
- 2. 意味検索**
ユーザーの希望に近い口コミ情報や観光スポット情報を検索。
- 3. AIによる生成**
上記の情報をRAGとしてGeminiに渡し、表現力豊かでパーソナライズされた旅行プランを生成。

On the right, there are two smartphone screens displaying a personalized travel plan. The top screen shows 'パーソナライズされたおすすめプラン' (Personalized recommended plan) with a '移動手段' (Mode of transport) section showing 'バス' and 'レンタカー'. The bottom screen shows 'スケジュール' (Schedule) with a '観光コース' (Tour course) section.

大規模実証実験が証明した、AIによる観光客の行動変容

Experiment Overview

- 期間：2025年11月14日～20日 (1週間)
- 対象：福井県観光連盟会員 40,000名

Key Results

- 93.5% 対話完了率
- 74.9% 「福井に行きたくなった」
- 57.5% 「新しい発見があった」
- 81% が県外からの参加者
- 約189万円 推定経済効果

AIが観光客の行動変容を促し、新たな来訪者を生む可能性を裏証。

アンケートの回答数が多いところ、満足度（推奨意向）が高いところが「お薦め」として表示されます！

＜観光客との接点＞ フロントエンド



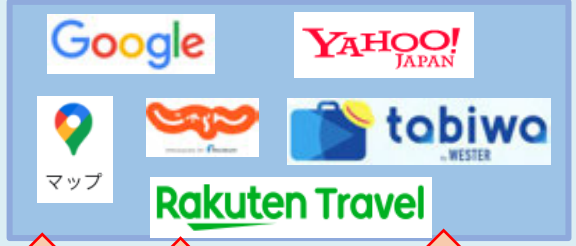
観光客の情報収集



- 福井県公式観光サイト
ふくいドットコム
- 観光情報掲載や旬の情報編集機能
 - エリア毎などのソート機能
 - 予約/販売機能
(宿泊、飲食、体験、ツアー、お土産)
(体験、ツアー、お土産の一部をTXJで内製化)

※メディア接触時間は、インターネットがテレビを超えて1位に

※新たなアプリ開発は、これらとの競合になる



特別なクーポン

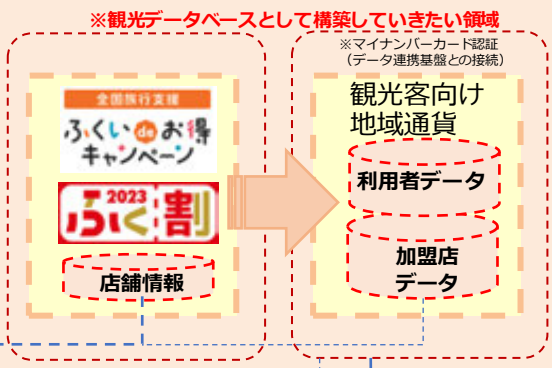
観光客向け地域通貨

- 移動
- 宿泊
- ツアー
- 参加費、入館料
- お土産 など

＜観光データ整備＞ バックエンド

スマートメガネなど、今後のあらゆるインターネット接続デバイスに対応するためには、データベース作りが重要

観光データベース（現在の「ふくいドットコム」）



基本理念：ワンソースマルチユース（one source multi use）

1つの（情報）の出所から複数（多くの・様々な）メディアや目的に使用する。そのために福井県の観光に関するデータを「ふくいドットコム」に集約。

県・市町・DMO
観光連盟/協会

※一部の観光協会とはAPI連携実装済み

観光プレイヤー

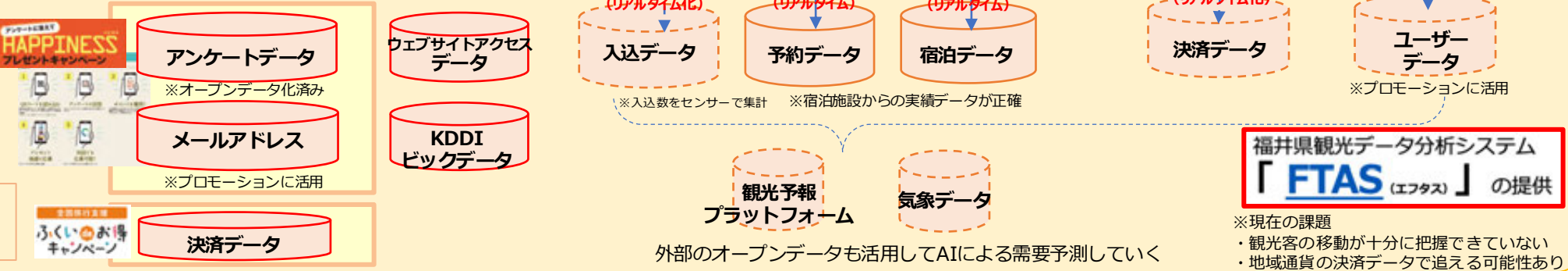
※現在の課題

- 交通系サービスのデジタル化が遅れている
- 経路検索情報の提供は難易度が高い

＜マーケティング・データ＞

- 効果測定（フィードバック）情報
- 現状把握からターゲット選定して戦略立案
- コンテンツの開発や磨き上げ、プロモーションの効率化につなげる

メールアドレスはプロモーションに活用
利用者データを含めて将来的には、広告ビジネス活用を検討



福井県観光データ分析システム
「FTAS（エフタス）」 の提供

※現在の課題

- 観光客の移動が十分に把握できていない
- 地域通貨の決済データで追える可能性あり

自動のコンサルティングによる
事業者の売上・利益の拡大

その人に適したレコメンドによる
最高のツーリズム体験



地点情報を持つ端末

AI

観光地のファクトDB

観光客の嗜好性DB

加工や利用や容易なDBをいかに創っていくかが勝負

観光で稼ぐプレイヤー支援



観光マーケティング環境の整備



オープンデータ + AI

福井県観光振興戦略立案: データが導く「次なる一手」

本レポートは、AIを活用して分析および作成しており、**作成時間は約1時間です。**

現在では、データ分析やレポート作成において、特別なスキルや高度な技術がなくても、誰もが高品質で分かりやすいレポートを作成できる時代になっています。

これから重要となるのは、データの質と量、最適化された分析基盤やAIツール、分析フロー、そして分析を行うための明確な視点と目的です。

適切なデータと目的意識をもって分析を行うことで、AIは意思決定を支える有効なツールとして機能します。

本レポートが、現状の理解と今後の検討・意思決定の一助となれば幸いです。

※本レポートはAIの活用方法を紹介する事例であり、データの整合性などの人的チェックは行っていませんので、誤りが含まれる場合があります。

データソース：FTAS HAPINESSアンケートデータ

調査期間：2023年4月 - 2025年8月

分析回答数：31,965件

使用した分析基盤：mitsumonoAI

使用したAI：mitsumonoAI・Claude・Gemini

分析・作成：合同会社basicmath

basicmath

<https://blog.basicmath.jp>

オープンデータによる エリアマネジメントへの挑戦



keyword

オープンデータ

オープンソース

オープンロジック



「自助」と「公助」の「共助」による
データの共有財産化

みんなで創る観光

Code for Fukui

オープンデータ化
シビックテック
(現状や課題の見える化)



観光客・県民
観光プレイヤー

アンケート協力
データ提供

行政・地域DMO
観光プレイヤー

満足度の高い
観光コンテンツ開発
(モノ・コト)

観光連盟・広域DMO

PR、誘客、販促
コンテンツ開発支援



A network diagram featuring numerous colorful human icons (in shades of green, red, blue, yellow, purple, and orange) arranged in a circular pattern. Dashed lines connect these icons, forming a web of relationships. The background is white with a light gray grid.

**1つの目標に向かい
みんなが出来る力を持ち寄って
それぞれが主体的に活動する**

自律分散型相互運用

観光の国際学会THE INC2024で発表



「民間主導のオープンデータが、地域の社会関係資本の形成を促し、観光地経営のイノベーションを促す、それを「コネクショナイズেশョン」と名付けて提唱」

されて、世界的に評価され始めている

2024年6月5日-7日
@アムステルダム



官主導の**静的**オープンデータ



民間主導の**動的**オープンデータ

オープンデータによる
エリアマネジメントの推進

福井のオープンデータを活用したデスティネーションマネジメントを「The Fukui Model」として、國學院大學 観光まちづくり学部 小林裕和教授が発表

G7の枠組みとしては初となる

G7 観光大臣会合で 福井県観光DXの取組の事例発表

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_00010.html



Box 3. Examples, AI for destinations and local communities

Notre-Dame Cathedral in Paris, France

The Cathedral is being restored, guided by AI technology. Following the extensive damage, which included the destruction of the roof and spire, a digital twin of the cathedral has been created. This digital model combines prior 3D scans of the cathedral with reality capture scans and AI-powered modelling to develop precise and effective rebuilding plans. AI plays a crucial role in analysing structural data, ensuring that the restoration adheres to historical accuracy while enhancing structural integrity. The project aims to meticulously reconstruct the iconic cathedral and reinforce its structure, with the goal of reopening Notre-Dame to pilgrims and tourists while preserving its historical and cultural significance.

Analysing traveller surveys in Fukui, Japan

The Fukui Prefecture Tourism Federation uses a data management platform that collects traveller surveys and consumption data, leading to a total of over 50000 cases and 90 facilities, which require huge workloads in the analysis. To address this issue a system has been built in which AI performs analysis according to the region and selected period and displays the summary of results and suggestions. Marketing staff are able to timely and efficiently obtain information on the strengths and issues that need improvement in the region. This supports the development of improvement plans together with local commercial facilities and the Chamber of Commerce and Industry for better management and more consumption

Barcelona, Spain, Zoobot

Spain's Smart Tourism Destinations Programme has introduced an AI-enhanced chatbot designed to make the Barcelona Zoo more accessible for individuals with visual, auditory, and cognitive disabilities, as well as those with mental health disorders. This innovative chatbot utilises advanced AI to provide personalised assistance and information tailored to diverse accessibility needs. Zoobot offers real-time support and guidance, helping tourists navigate the zoo, understand exhibits, and enhance their overall experience. The AI-driven chatbot can deliver information in various formats—such as audio descriptions, text, and visual aids—to accommodate different needs.

VisitBritain, "Fake Brit Til You Make It"

VisitBritain's digital marketing campaign leverages AI to engage American consumers by highlighting Britain's rich regional diversity. This campaign employs AI-driven gamification techniques that incorporate regional British dialects to create an immersive and interactive experience. By analysing user interactions and preferences, the AI tailors the campaign content to resonate with individual participants, enhancing engagement and personalisation. The anticipated outcomes include increased awareness and interest in British tourism among American audiences, a deeper appreciation of regional diversity, and a boost in VisitBritain's market presence.

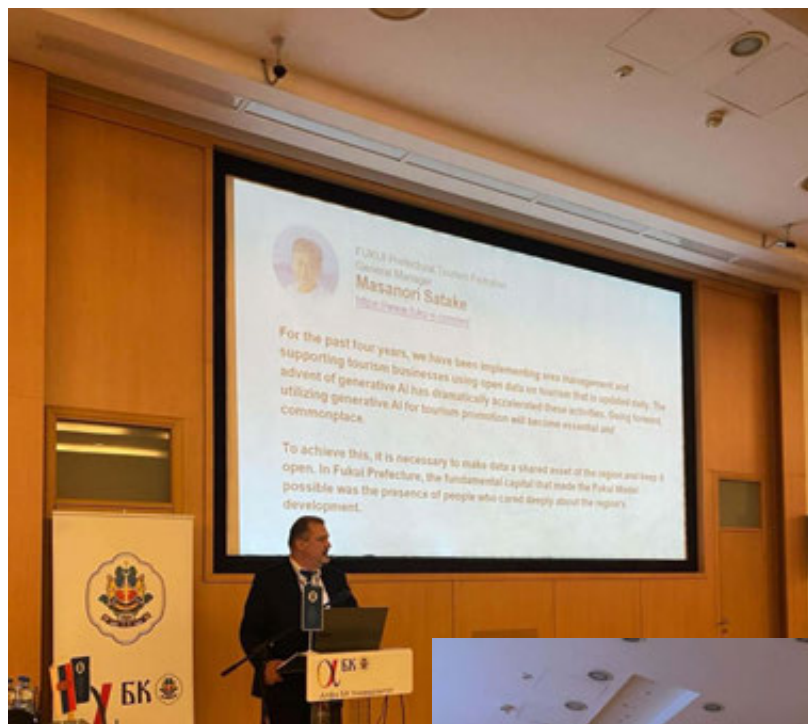
● 開催日時
令和6年11月13日(水)～15日(金)

● 開催地
イタリア・フィレンツェ

● 参加国・機関
G7国(イタリア(議長国)、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、カナダ)、EU、ブラジル、エジプト、インド、サウジアラビア、OECD、UN Tourism、WTTC

● 参加関係等(G7各国)
 イタリア: ダニエラ・サンタンク 観光大臣(議長国)
 フランス: マリーナ・フェラーリ 経済・財務・産業大臣付 観光経済担当大臣
 米国: アレックス・ラスズー 商務省 旅行・観光担当次官補代理
 英国: ロバート・スペクターマン=グリーン 文化・メディア・スポーツ省 メディア&国際部長
 ドイツ: ディーター・ヤネチェク 経済気候保護省 海事経済・観光担当コーディネーター
 日本: 萩川直也 観光庁長官
 カナダ: ソラヤ・マルティネス・フェラダ 観光大臣兼ケベック州経済開発庁担当大臣
 EU: フーベルト・ギヤムズ 欧州委員会 域内市場・産業・アントレプレナーシップ・中小企業総局 副局長

Time	Activity	Location
08:00 - 09:00	Registration of participants	University Hall
09:00 - 10:00	Opening Ceremony	A.1
10:00 - 11:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
11:00 - 12:00	Break	A.1
12:00 - 13:00	Lunch Break	A.1
13:00 - 14:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
14:00 - 15:00	Break	A.1
15:00 - 16:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
16:00 - 17:00	Break	A.1
17:00 - 18:00	Coffee Break & Reception	University Hall
18:00 - 19:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
19:00 - 20:00	Break	A.1
20:00 - 21:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
21:00 - 22:00	Break	A.1
22:00 - 23:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
23:00 - 24:00	Break	A.1
24:00 - 25:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
25:00 - 26:00	Break	A.1
26:00 - 27:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
27:00 - 28:00	Break	A.1
28:00 - 29:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
29:00 - 30:00	Break	A.1
30:00 - 31:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
31:00 - 32:00	Break	A.1
32:00 - 33:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
33:00 - 34:00	Break	A.1
34:00 - 35:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
35:00 - 36:00	Break	A.1
36:00 - 37:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
37:00 - 38:00	Break	A.1
38:00 - 39:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
39:00 - 40:00	Break	A.1
40:00 - 41:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
41:00 - 42:00	Break	A.1
42:00 - 43:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
43:00 - 44:00	Break	A.1
44:00 - 45:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
45:00 - 46:00	Break	A.1
46:00 - 47:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
47:00 - 48:00	Break	A.1
48:00 - 49:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
49:00 - 50:00	Break	A.1
50:00 - 51:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
51:00 - 52:00	Break	A.1
52:00 - 53:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
53:00 - 54:00	Break	A.1
54:00 - 55:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
55:00 - 56:00	Break	A.1
56:00 - 57:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
57:00 - 58:00	Break	A.1
58:00 - 59:00	Panel discussion: "Smart Cities and Modern Technologies"	A.1
59:00 - 60:00	Break	A.1



ALFATECH 2026
General Manager
Masanori Satake
<https://www.alpha-bk.com>

For the past four years, we have been implementing smart management and supporting tourism businesses using open data on tourism that is updated daily. The advent of generative AI has dramatically accelerated these activities. Going forward, utilizing generative AI for tourism promotion will become essential and

To achieve this, it is necessary to make data a shared asset of the region and lives it open. In Fukui Prefecture, the fundamental capital that made the Fukui Model possible was the presence of people who cared deeply about the region's development.



Digitalna budućnost u srcu Beograda: Održana međunarodna naučna konferencija ALFATECH 2026

Milica Mandićević | 04/03/2026 | 17:50 | Citanje: oko 2 min.

Alpha BK Univerzitet, u saradnji sa Fakultetom za informacione tehnologije i Fakultetom za matematiku i računarske nauke, uspešno je organizovao međunarodnu naučnu konferenciju pod nazivom „ALFATECH – Pametni gradovi i moderne tehnologije“. Skup koji je u zgradi Univerziteta na Bulevaru maršala Tolbukhina okupio vodeće stručnjake iz zemlje i inostranstva, bio je posvećen kritičkim pitanjima razvoja urbane infrastrukture, bezbednosti i digitalne transformacije društva.

Svečano otvaranje konferencije u sali AI obeležila su obraćanja prof. dr Milana Gligoričevića i prof. dr Mihaila Jovanovića, koji su istakli značaj sinergije između akademske zajednice i privrede u kreiranju rešenja za gradove budućnosti. Uvodna sesija odmah je postavila visok standard diskusije, a poseban akcenat stavljen je na integrirani bezbednosni sistem „Beograd siguran grad“, o čemu je govorio Darko Glavač, sekretar za poslove odbrane i vanredne situacije grada Beograda.

Tokom predpodnevnog dela programa, učesnici su imali priliku da se upoznaju sa najnovijim dostignućima u oblasti federativnog učenja u mrežama autonomnih vozila, kao i sa ulogom mobilnih operatera i pametnih tehnologija u sistemima inteligentnih gradova. Veliku pažnju privuklo je i gostovanje kompanije basicmath Inc iz Japana, koja je predstavila svoju inovativnu generativnu AI platformu Misumono, ukazujući na globalni domet tehnoloških trendova koji se razmatraju na ovom skupu.



Paralelne sesije i okrugli stolovi tokom popodnevna dodatno su produbili dijalog o uticaju 5G i 6G mreža na strateški razvoj obrazovanja i lokalne samouprave. Moderatori doc. dr Dragane Dudić, doc. dr Aleksandre Gajović i mer Serđe Bukić Popović vodili su dinamične razmene mišljenja o nauci u eri veštačke inteligencije i rešavanju konkretnih problema u urbanim sredinama. Posebno se izdvojio okrugli sto posvećen tehnologiji kao pokretaču održivog razvoja i zaštite životne sredine, kojim su rukovodile prof. dr Violeta Čičić i prof. emeritus Jozefina Beke Trivunac.

Značajan segment konferencije činila je i poster sesija, koju je koordinisao doc. dr Milan Brkić. U holu Univerziteta i sali SI predstavljen je širok spektar naučnih radova, od primene veštačke inteligencije u predviđanju klimatskih hazarda i infrastrukturnih kolapsa, preko sajber bezbednosti kritične infrastrukture, pa sve do inovativnih pristupa u korišćenju ChatGPT-a u nastavi matematike. Autori su kroz svoje radove ponudili konkretna rešenja za optimizaciju saobraćaja, pametno upravljanje otpadom i unapređenje energetske efikasnosti kroz matematičku optimizaciju elektrana.



2026年8月23日～26日にスイスのザンクト・ガレンで開催される第75回AIEST会議にご参加ください。

これは、AIESTが創設の地に戻る記念すべき会議です。AIESTの第1回会議は、観光の現代的な定義に貢献しました。そのため、この特別な会議のテーマは、再び観光研究の基本概念と結びついています。会議の最後に行われる合意形成セッションでは、構造化された議論を通して、「観光」に対するより適切な理解のための共通基盤を見出すことを目指します。この議論の結果は論文として発表される予定です。

会議主催者一同、皆様のご参加をお待ちしております！



参加すべき理由 +

会議の構成 +

会場：スイス、ザンクト・ガレン、SASラディソンホテル

こちらからお部屋をご予約ください

この8月にスイスで行われる、観光の国際観光学会でもFTASの取組みが発表される予定

Special Dialogue
特別対話

麗学院大学
小林裕和教授
&
JRC
松本百加里




**研究者が考える
観光×AIの現在地と未来**

AI時代の観光研究のあり方について、本対話では、観光の定義をどう捉えるべきか、観光研究の目的や方法論をどう捉えるべきか、観光研究の成果をどう活かすべきか、観光研究の未来をどう描くべきか、といった問いを、小林裕和教授と松本百加里が対話形式で語り合います。

対話の模様は、8月23日の「AIEST 2026」の特別対話セッションにて、ライブ配信されます。

8月23日 14:00～15:30

会場：SASラディソンホテル

参加費：無料

申し込み：こちらから

とーりまかし

旅行者・事業者・地域経営はAIの進化で、どう変わる？

観光×AI 共創の時代

AI時代の観光研究のあり方について、本対話では、観光の定義をどう捉えるべきか、観光研究の目的や方法論をどう捉えるべきか、観光研究の成果をどう活かすべきか、観光研究の未来をどう描くべきか、といった問いを、小林裕和教授と松本百加里が対話形式で語り合います。

対話の模様は、8月23日の「AIEST 2026」の特別対話セッションにて、ライブ配信されます。

8月23日 14:00～15:30

会場：SASラディソンホテル

参加費：無料

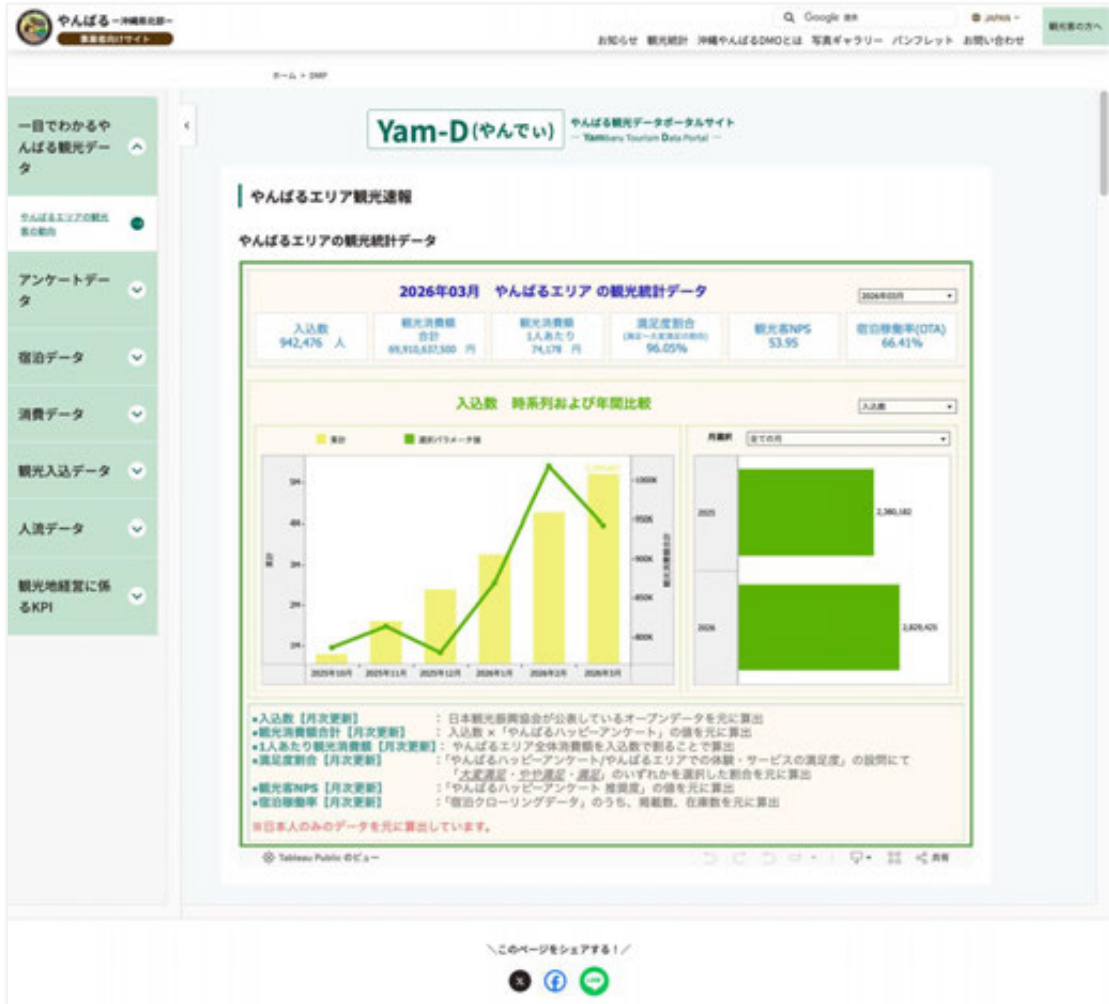
申し込み：こちらから

「やんばる」でも展開



Yam-D (やんでい)

<https://yambaru-tour.net/business/dmp/>



一目でわかるやんばる観光データ

やんばるエリアの観光客の動向

やんばるエリアを訪れる観光客の基本情報や特性を把握することができます。

観光客の特徴は？ 詳細を見る	観光客の観光目的は？ 詳細を見る	観光客の同行者は？ 詳細を見る	やんばるエリアを知ったきっかけは？ 詳細を見る
観光客の交通手段は？ 詳細を見る	観光客の宿泊数は？ 詳細を見る	観光客の消費動向は？ 詳細を見る	観光客の再来訪意向は？ 詳細を見る
観光客の満足度は？ 詳細を見る	観光客のNPSは？ 詳細を見る	観光客の改善要望は？ 詳細を見る	

宿泊データ

宿泊旅行統計調査

宿泊施設を対象に実施される観光庁の統計調査で、沖縄県内、北部地域内の宿泊数などを把握し、観光政策の立案や地域観光の分析、宿泊業の経営判断に役立てることができます。

沖縄県内の延べ宿泊者数 日本人/外国人別に集計した沖縄県内の延べ宿泊者数 #月次更新 詳細を見る	インバウンド延べ宿泊者数 沖縄県内における国籍ごとのインバウンド延べ宿泊者数 #月次更新 詳細を見る	北部地域の延べ宿泊者数 北部地域の延べ宿泊者数や宿泊者推移 #年次更新 詳細を見る
---	---	--

宿泊OTAクロウリングデータ (サンプル)

このデータはサンプルデータになります。

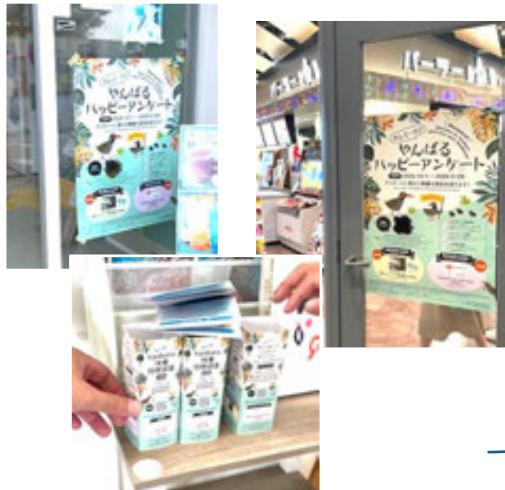
沖縄やんばるDMO会員の方は、2018年～最新版のデータを確認することができます。

※会員向け提供は2026年4月以降を予定しております。

宿泊予約情報 #サンプル 詳細を見る	宿泊実績情報 #サンプル 詳細を見る	平均単価と客室稼働率 #サンプル 詳細を見る
--------------------------	--------------------------	------------------------------

Yam-D 観光客の実態把握

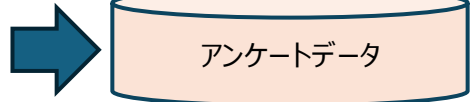
やんばる内を36エリアに分けて
約160箇所に告知QRコードを設置



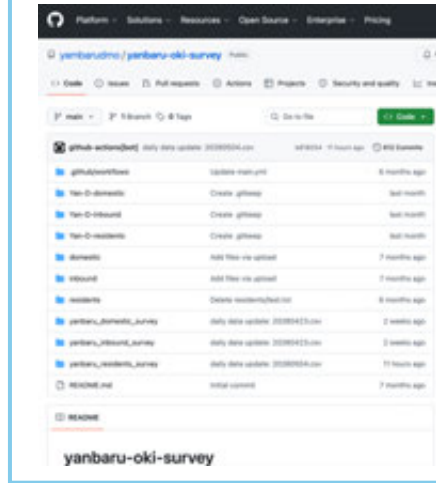
(2025年10月1日
~2026年2月28日)

アンケート収集数

6,011件



GitHub上に
オープンデータ化



↑ 学術研究、学校の授業、ハッカソンイベント等
自由に活用可能

Yam-D (やんでい)

12市町村別、36のエリア別で分析可能

日時更新の簡易分析
ダッシュボード



月次更新の詳細分析
ダッシュボード

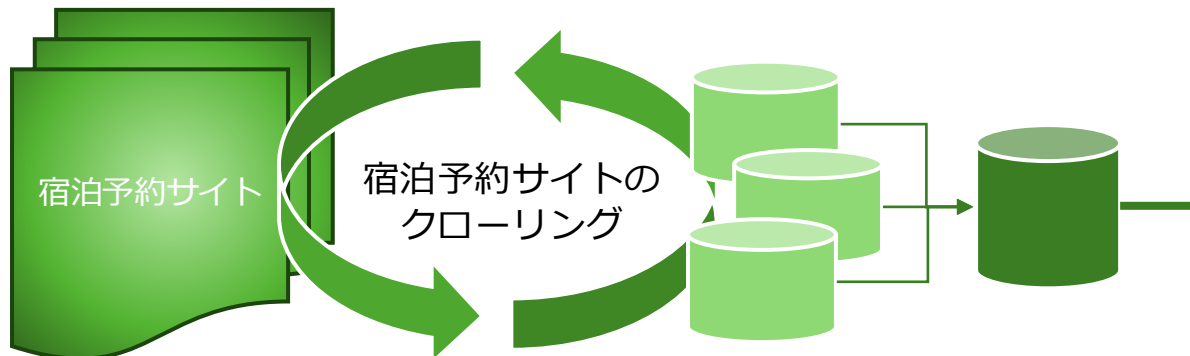


旅行形態 / 目的 / 宿泊数 / 消費額 / 満足度 / 推奨意向 / 情報収集方法
観光地に改善点や求める事などを把握できるダッシュボード

Yam-D 観光客の実態把握

やんばるエリア 1日あたりの宿泊キャパシティ

令和6年宿泊施設実態調査結果 (令和7年6月25日発表)		軒数	合計 客室数			収容 人数
			和	洋	計	
沖縄本島 (北部)	1名護市	211	75	3,530	3,605	11,453
	2国頭村	38	63	327	390	1,251
	3大宜味村	28	13	27	40	224
	4東村	26	13	82	95	407
	5今帰仁村	264	35	790	825	3,844
	6本部町	398	134	2,387	2,521	10,888
	7恩納村	402	244	5,839	6,083	21,916
	8宜野座村	30	33	112	145	646
	9金武町	59	27	282	309	1,180
	小計	1,456	637	13,376	14,013	51,809
離島 (北部)	10伊江村	31	57	148	205	605
	11伊平屋村	18	69	63	132	662
	12伊是名村	18	78	64	142	400
		小計	67	204	275	479
合計		1,523	841	13,651	14,492	53,476



Yam-D (やんでい)

12市町村別、36のエリア別で分析可能

過去の実績と、90日先までの宿泊予約状況の
分析ダッシュボード



平均単価とOTA客室稼働率



日毎、月毎の宿泊実績



正確なものではなく
あくまで傾向分析ツールとして提供

観光で稼ぐプレイヤー支援



観光マーケティング環境の整備

Yam-D (やんでい)

オープンデータ + AI

2年でFTASを超えていく

AIを活用した新たなチャレンジ

外側からの「やんばる」への想い

やんばるハッピーアンケート×AI

AIが導き出したブランドコンセプト

AIが導き出したペルソナ

観光客の想いを乗せたAIエージェント

This block contains several images: a brand concept poster with 'やんばる' branding, a list of brand concepts, and two AI-generated personas for '田村 航平' and '川島 亜子' with their respective profiles and photos.

内側からの「やんばる」への想い

「住む人の誇り」をAIを活用して可視化

12市町村でのWSでやんばるが1つになっていく合意形成を仕掛けていく

地域住民の想いを乗せたAIエージェント

This block features a central image of a couple on a beach at sunset, surrounded by smaller images of community meetings and a presentation screen.

AIを活用した
ペルソナと住民との対話

やんばるブランドコンセプトの確立

観光地マネジメント/マーケティングのあり方

データを共有財産化しながら
やんばるから
世界を変えて行く！